

令和5年度 花輪線利用促進協議会 通常総会



花輪線復旧工事：令和5年2月6日

日時：令和5年8月10日（木）午後2時30分から
会場： エスポワールかづの 2階「みのりの間」

次第

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

- (1) 報告第1号 令和4年度事業報告について
- (2) 認定第1号 令和4年度収支決算について
- (3) 議案第1号 令和5年度活動方針及び事業計画（案）について
- (4) 議案第2号 令和5年度収支予算（案）について

4 その他

5 閉 会

報告第1号

令和4年度事業報告について

月日	事業実施内容
6月14日	幹事会 総会の付議案件について
7月19日	令和4年度通常総会 ○議事 (1) 報告第1号 令和3年度事業報告について (2) 認定第1号 令和3年度収支決算について (3) 議案第1号 令和4年度活動方針及び事業計画(案)について (4) 議案第2号 令和4年度収支予算(案)について (5) 議案第3号 役員の改選について 【全議案について承認】
1月19日	幹事会 今後の議論の進め方について
通年	協議会ホームページ「花輪線に乗ろうよ!」の管理 アクセス数 (R4.4.1~R5.3.31) 35,461件 (前年度比 +7,584件)

会員各団体の取り組み

【滝沢市】

- ・たきざわのりものフェスタ（ビッグルーフ滝沢） 7月24日
展示コーナーで花輪線写真を展示

【八幡平市】

- ・通学定期券購入費補助金交付事業 1,485件（通年）

【大館市観光協会】

- ・大館桜まつり 4月10日～4月26日
- ・大館大文字まつり 8月11日
- ・大館アメッコ市 2月11日～2月12日

【鹿角市】

- ・駅からハイキング「鉾山城下町、鹿角花輪の歴史を感じる」
参加件数 19件（4月1日～12月30日 鹿角市花輪地内）

認定第1号

令和4年度収支決算について

(収入の部)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較	説明
1 負担金	380,000	380,000	0	正会員負担金 盛岡市 90,000 滝沢市 30,000 八幡平市 90,000 鹿角市 80,000 大館市 90,000
2 繰越金	187,124	187,124	0	令和3年度繰越金
3 雑収入	876	3	△873	預金利子
計	568,000	567,127	△873	

(支出の部)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較	説明
1 会議費	30,000	0	△30,000	
2 事務費	20,000	11,100	△8,900	振込手数料 1,100 全国鉄道整備促進協議会分担金 10,000
3 事業費	508,000	132,000	△376,000	ホームページ管理委託料 132,000
4 予備費	10,000	0	△10,000	
計	568,000	143,100	△424,900	

【収入額】 567,127 円 - 【支出額】 143,100 円 = 【繰越金】 424,027 円

会計監査報告

令和4年度花輪線利用促進協議会会計収支決算について、関係帳簿・書類等を照合審査した結果、その内容は適正なものと認めます。

令和5年8月 / 日

花輪線利用促進協議会

監事 大館市長

福原淳司

議案第 1 号

令和 5 年度活動方針及び事業計画（案）について

1 活動方針

花輪線は、沿線住民の生活の足として、また、十和田八幡平国立公園や安比高原など沿線地域の主要観光地へのアクセスルートとしての役割を持つ、沿線地域における総合的な交通ネットワークの核となる重要な存在です。

しかし、沿線の人口減少、少子化による学生の減少、自家用自動車の普及など様々な要因により、利用者数は年々減少を続けています。特に近年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による大きな影響を受けているなか、令和 4 年 8 月に記録的な大雨災害が発生、花輪線が一部運休を余儀なくされたことで、利用者数の減少に拍車をかけることとなりました。

このような状況の中で、花輪線の利用を促進する事は、沿線住民の生活路線の確保及び沿線地域の振興を図る上で、非常に重要な課題となっております。

「十和田八幡平四季彩ライン」の愛称を持つ花輪線の魅力と、沿線地域の観光資源を含めた情報を発信し、観光客の利用拡大も図っていく必要があります。

今年 10 月には、ローカル鉄道再構築に向けた新制度が施行されることから、これまで以上の利用促進が求められることを踏まえ、令和 5 年度の活動方針は、次のとおりとします。

沿線市町村が一体となった利用促進策の早期実施と、情報発信により花輪線への関心を高め、利用客の増加を目指します。

2 目標値の設定

今年度の利用目標は、コロナ禍と運転休止の影響からの回復を目指すこととして、令和元年時点の花輪線全線の平均通過人員である 357 人とする。

3 事業計画

(1) 花輪線利用促進事業

花輪線の魅力と沿線地域の観光資源等について、SNS などデジタル技術を活用し広く PR する。沿線住民及び観光客の利用拡大に向け、JR ローカル線活性化研究会を活用しながら利用促進策を検討し、速やかに効果的な事業を実施する。

JR ローカル線活性化研究会でのプレゼン提案事業

提案事業	概要
撮影スポット整備	花輪線のおすすめ撮影スポットを情報配信 列車撮影講習会・撮影会の開催、コンテスト開催 撮影スポットの整備(植樹、駐車スペースの確保)
臨時列車運行	人気観光イベントへの臨時列車運行 小学生を中心とした団体競技の交流会を開催し、花輪線 を移動手段とする
サイクルトレイン	自転車をそのまま車内に持ち込めるようにすることで、 サイクリング愛好者の利用を促進
ミニツアー	入浴券割引付き乗車券 沿線自治体の日帰り観光ツアー開催 (漆塗り絵付け体験、芝居観劇、スイッチバック体験)
居酒屋列車 イベント列車	通勤利用者向けに、帰宅時の車内でお酒、その他メニュー を提供 昼は喫茶店列車として、コーヒーやスイーツなどを提供
秋田犬の活用	秋田犬をフックとした利用促進 (ラッピング、秋田犬に会える)
定期券補助	学生の定期券購入を補助(路線利用の習慣づけ、愛着を育 む) 八幡平市で実施中

鹿角花輪駅開業 100 周年

- ・駅カード開業 100 周年バージョンの配布

(2) 幹事会の開催

協議会の目的を達成するために実施する事業の企画・運営のため、必要に応じて開催する。

(3) 協議会ホームページの管理・運営

ア) 事業概要

協議会ホームページで、花輪線の歴史や時刻表、協議会に関する情報を発信する。

イ) 管理体制

ホームページを適切に管理するため、専門知識を有する事業者へ管理を委託する。

(4) 会員の連携強化

会員間で共有すべき情報等について、事務局から会員に情報発信し共有するとともに、必要とされる対応について連携して取り組む。

※令和5年度事業の経過

月日	実施事業
4月28日	花輪線利用促進協議会第1回幹事会
5月7日	レールウォークイベント
5月14日	花輪線全線運転再開 商工会による紅白餅の配布 自治会による再開を祝う横幕・出迎え
5月15日	第1回 JR ローカル線活性化研究会
6月27日	沿線市打合せ
7月25日	第2回 JR ローカル線活性化研究会
7月25日	花輪線利用促進協議会第2回幹事会

<参考：会員各団体の予定される取り組み>

【岩手県】

- ・地域公共交通活性化推進事業費補助金
- ・県広報誌「いわてグラフ」において JR ローカル線特集記事掲載

【滝沢市】

- ・滝沢市産業まつり（滝祭）で利用促進を PR

【八幡平市】

- ・通学定期券購入費補助金交付事業（通年）

【大館市】

- ・ONSEN ガストロノミーウォーキング

【(一社)大館市観光協会】

- ・大館桜まつり
- ・大館大文字まつり
- ・大館アメッコ市

【東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社】

- ・花輪線レールウォーク
- ・「駅カード」配布
- ・花輪ばやし臨時列車

【IGR岩手銀河鉄道株式会社】

- ・銀河鉄道まつり

【かづの商工会】

- ・全線運転再開出迎え(紅白餅の配布)

【鹿角市】

- ・駅からハイキング
- ・全線運転再開イベント（花輪ばやし、毛馬内盆踊り、ミニツアー）

議案第 2 号

令和 5 年度収支予算（案）について

(収入の部)

(単位：円)

科目	R5 予算額	R4 予算額	比較	説明
1 負担金	380,000	380,000	0	正会員負担金 盛岡市 90,000 滝沢市 30,000 八幡平市 90,000 鹿角市 80,000 大館市 90,000
2 繰越金	424,027	187,124	236,903	令和 4 年度繰越金
3 雑収入	973	876	97	預金利子 等
計	805,000	568,000	237,000	

(支出の部)

(単位：円)

科目	R5 予算額	R4 予算額	比較	説明
1 会議費	100,000	30,000	70,000	会議会場等使用料 100,000
2 事務費	20,000	20,000	0	全国鉄道整備促進協議会分担金 10,000 事務費等 10,000
3 事業費	675,000	508,000	167,000	ホームページ管理委託料 200,000 花輪線 PR・利用促進事業 475,000
4 予備費	10,000	10,000	0	
計	805,000	568,000	237,000	

※科目間の流用を認めるものとする。

令和5年度負担金算出基礎

市町村名	負担金（単位：円）				基礎数値	
	人口割 (A)	距離割 (B)	平等割 (C)	合計 (A)+(B)+(C)	人口 (単位：人)	線路延長 (単位：km)
盛岡市	50,000	30,000	10,000	90,000	289,731	4.0
滝沢市	20,000	0	10,000	30,000	55,579	—
八幡平市	30,000	50,000	10,000	90,000	24,023	52.8
鹿角市	30,000	40,000	10,000	80,000	29,088	28.0
大館市	40,000	40,000	10,000	90,000	69,237	22.1
合計	170,000	160,000	50,000	380,000	467,658	106.9

(A) 人口割（令和2年国勢調査による市町村の人口に応じた負担）

区分	金額(円)
5万人未満	30,000
5万人以上10万人未満	40,000
10万人以上	50,000

注) 準沿線市である滝沢市は、半額とする。

(B) 距離割（市町村に敷設されている線路延長に応じた負担）

区分	金額(円)
1 km以上 10 km未満	30,000
10 km以上 50 km未満	40,000
50 km以上	50,000

(C) 平等割 10,000円